

# あがの市民病院 スワンだより



## 連携医療機関のご紹介

### すぎはら整形外科 院長 杉原 泰洋 先生

平成11年に開業し、27年間にわたり診療を続けてきましたが、この2月末で一旦閉院することになりました。まずは、これまで阿賀野市はじめ近隣の地域の皆さまから支えられてきたことに対し、心より感謝申し上げます。

4月中旬からふじい整形外科として新たにスタートすることとなります。院長となる藤井俊英先生は長年あがの市民病院で勤務され、この地域の実情をよく理解されており、当院も何かと助けていただきお世話になった先生です。わたしもふじい整形外科の一員としてフルタイムではありませんが、診療に当たらせてもらうこととなります。阿賀野市周辺の地域医療に貢献できるように頑張りますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



### 特別養護老人ホーム あがの八雲苑 施設長 高野 友丈

当施設の特養あがの八雲苑は、開設当初よりあがの市民病院及び脳神経センター阿賀野病院から、ご利用者の皆様の日頃の健康管理や診療、治療、急変時等における24時間医師の往診体制などにご協力頂いており感謝申し上げます。日本国内では、様々な産業、医療や介護の現場で人口減少により運営に支障を来し始めています。昨年末に医療や介護などを含むAI開発・社会実装促進への基本計画が閣議決定されたところです。日本の技術を着たAIヒューマノイド、AIソフィア等会話型、癒し型などの深化が目覚しく、介護人材確保などに一翼を担うことを期待しています。



## 病院長のごあいさつ

午年の本年、あがの市民病院は、地域に根ざした病院として、さらなる病院機能の向上に向け、新年度に「一本の矢」を放ちます。

高齢化が進む中、心不全、肺炎、尿路感染症、肝・胆道系感染症、骨関節疾患、認知症など、地域で増加する疾患への対応は、これまで以上に重要となっています。

当院では、4月より「一般循環器病センター」を新たに立ち上げ、「心臓リハビリテーション」の取り組みを開始いたします。これに加え、糖尿病・生活習慣病予防治療センター、消化器病センター、骨関節疾患センター、透析、呼吸器リハビリテーションなど、既存の機能と有機的に連携し、病院全体としての診療体制をさらに強化してまいります。

また、行政と協働し、予防医療を含めた急性期から在宅まで切れ目のない「地域包括医療・ケア」を提供することで、「地域愛着病院」として、地域の皆様と共に力強く前進してまいります。

今後とも、皆様からの温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

病院長 藤森 勝也



## あがの市民病院

〒959-2093

新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表☎0250(62)2780

Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com

ホームページアドレス <http://www.city.agano.niigata.jp>



あがの市民病院

## 全国厚生連統一献立の日

### 栄養科

当院はJAグループの病院です。新潟県内だけでなく全国各地に病院があり、その病院に勤務している管理栄養士は全国厚生連栄養士協議会に所属しています。この全国厚生連栄養士協議会の取り組みとして2015年に始まった「統一献立の日」について紹介いたします。

「病院にいながら全国の郷土料理を食べよう」をコンセプトに、全国の厚生連病院で各地の郷土料理を、同日に、同じ献立で提供しています。これまで福島県の「会津の小汁（こづゆ）」、宮崎県の「チキン南蛮」、長野県の「山賊焼き」、茨城県の「そばいなり」、岐阜県の「ほごし寿司」、愛知県の「味噌田楽」などを提供してきました。

過去には新潟県の「タレかつ丼」「のっぺい汁」「鶏肉の半身揚げ風唐揚げ」「きりざい」が採用され、北は北海道から南は鹿児島島の厚生連病院で提供されました。

この取り組み以外にも、四季折々の行事食の提供や、JA新潟かがやきと連携して地産地消も行っております。入院中お食事を通して少しでも楽しい・美味しいと感じ、元気になっていただけることが私たちの願いです。これからも、安全で美味しい食事を提供していけるように、スタッフ一同努めてまいります。



## 保険証失効に伴う対応について

2025年12月2日から、従来の健康保険証は使用できなくなりました。現在の受診方法は以下の2通りです。

### ▶マイナ保険証をお持ちの方

- ・マイナンバーカードを医療機関のカードリーダーにかざしてください。

### ▶マイナ保険証をお持ちでない方

- ・加入している健康保険組合や自治体から送付された『資格確認書』を提示してください。

有効期限が切れた保険証はご自身で破棄して問題ありません。ただし、氏名など重要な個人情報を読み取れないよう、ハサミで細断するなどして処分してください。※健康保険組合によっては回収を求めている場合がありますので、別途指示がある場合はそちらに従ってください。有効期限が切れた保険証は誤って窓口を持参しないよう整理していただき、今後は『マイナ保険証』または『資格確認書』をご利用ください。

### 医事課



### 病院長のつぶやき

## 院長室

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手が大きな活躍を見せました。なかでも新潟県出身の17歳・中井亜美選手が銅メダルを獲得したことは、若人のパワーを改めて感じさせてくれました。努力が実を結び、夢をつかむ姿に大きな感動をもらいました。

当院でも4月から多くの新人・異動者を迎えます。新しい仲間が加わることで、病院全体がさらに活気づく時期です。お互いに力を合わせ、一歩ずつ前に進みながら、より良い医療をつくっていきましょう。



## サンタ回診！ハンドベル♪患者さん大喜び！

2017年より実施しているサンタ回診が12/11に行なわれました。藤森病院長サンタコースと一緒に研修医の先生方が、トナカイやツリー、雪だるまのコスチュームで各病室を回り、「早く元気になってくださいね」と声をかけてクリスマスカードをプレゼントしました。患者さんはとっても嬉しそうでした。

そして、こちらも恒例のメインイベント！

職員の心のこもったハンドベルの演奏が病棟内に響き渡って、とても幻想的な空間を演出していました。前で聞いている患者さんはうっとりでした。



## クリスマスコンサートが開催されました

12月11日に行われたクリスマスコンサート！大勢のお客さんと患者さんにご参加いただき盛り上がりしました。鈴木基子先生のピアノ演奏と、女声コーラス向日葵による歌とサンタコースに扮した演出があり、楽しませていただきました。職員コーラス隊も29名でパワーのある演出でがんばりました！！

